

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	21938
事業名	住民組織助成金					
評価担当課	所 属	市)地域振興部 市民自治推進課			電話番号	011-211-2253
施策名	地域活動を活発化する環境づくり					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営	○ 一部委託	○ 全部委託	● 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	安全・安心で快適に暮らせるまちづくりのための各種活動を活発化させ、環境問題、地域福祉、交通対策など、本市の重要な施策を進めていくにあたって、住民組織の果たす役割は大きいものとなっている。 一方で、少子高齢化や社会情勢の変化、生活様式の変化に伴い、住民組織の担い手不足が拡大しており、組織存続には活動の活性化及び継続実施による組織の認知拡大と経費負担の軽減が必要な状況である。
	事業内容 (何を実施し)	地域住民相互の連帯感の醸成を図り、心のふれあう温かい地域社会の形成を支援するため、町内会等住民組織の自主的な運営や活動費用の一部を助成金として交付することで側面的な支援を行う。助成金の増額により、住民組織の地域活動の更なる活性化を図る。 ①連合町内会助成金:均等割＋世帯割 ②単位町内会助成金:基準割＋世帯割 ③地区会館維持管理助成金:清掃費助成＋運営費助成＋管理人手当助成
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	住民組織に対する財政的支援を行うことにより、住民主体の地域活動を活性化し、地域住民相互の連帯感の醸成を図り、市民自治の実践を目指すと共に、心のふれあう温かい地域社会の形成を図る。
	他都市の状況	町内会・自治会への助成は20政令市すべて実施しているが、本事業のような包括的な助成は11市(札幌、仙台、千葉、さいたま、相模原、横浜、静岡、大阪、堺、岡山、熊本)で実施している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	220,174 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.1 人工
令和5年度予算額	328,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.1 人工
令和5年度決算額	323,224 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.1 人工
令和6年度予算額	330,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.1 人工

指標	アウトプット 活動指標1	町内会加入世帯数(世帯)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		685497	693000	689198	699948	706430	712971
	↓						
	アウトカム 成果指標1	事業の実施に満足している人の割合				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		－	50	94	50	50	50
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	町内会加入促進に向けた各種取組を行うも、市外からの転入を主とした総世帯数の増加に比べて、加入世帯数の伸びが追い付いていないため					
	アウトプット 活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム 成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	令和5年度の助成金増額に伴い、満足度等のアンケート調査を実施し、高い満足度であることがわかっている。地域の快適な生活環境の維持や活動活性化に向けた取り組みを進めるという観点から、引き続き側面的な支援としての当事業の改善を図っていく。